Future conference News
未来会議だより
令和８年11月１日発行
発行　栄東地区まちづくり未来会議
(TEL711-2203)
栄東地区まちづくり未来会議　検索

--令和８年10月14日(水)--

笑顔と歌声が響く、福まちふれあい交流会



日の丸会館にて、栄東地区福祉のまち推進センター主催「福まちふれあい交流会」が開催されました。地域の 75 歳以上の一人暮らしの高齢者と福祉協力員を対象とした毎年恒例のイベントで、今回は 2 回に分け、計 100 名が参加しました。

ゲストに「WINDMILLS（タケ＆うさぴょん)」のお二人を迎え、息の合った明るい進行で会場は一気に和やかな雰囲気に。座ったままできる「早口言葉」や、懐かしの「ミニ歌声喫茶」では手話を交えながら「ふるさと」や「いつでも夢を」などの名曲を全員で合唱しました。続く「演歌体操」では、「ズンドコ節」などのおなじみの曲に合わせて楽しく体を動かし、心地よい汗を流しました。



▲フィナーレはレイをかけて長生き音頭

参加者からは「久しぶりに大きな声で歌えた」「また呼んでほしい」と嬉しい声が寄せられ、たくさんの笑顔があふれる時間となりました。

これからも地域のシニアの皆さまが安心して楽しく暮らせるよう、温かい交流の輪を広げてまいります。ご参加の皆さま、日頃から見守りを支えてくださる福祉協力員の皆さま、ありがとうございました。また来年の交流会でお会いしましょう！



▲お弁当の準備をするスタッフ

--令和８年10月19日(月)--

日の丸会館で初のサークル誕生「カラオケクラブ」



地域の中で高齢者が増加する中、誰もが気軽に集まれる「多様な居場所づくり」の大切さが改めて注目されています。そんな中、新しく生まれ変わった日の丸会館にて、待望の第 1 回「カラオケクラブ」が開催されました。

当日は見学者を含む 21 名の皆さんが集まり、会場はまたたく間に笑顔と熱気に包まれました。約 2 時間半の限られた時間の中、ステージで披露されたのはなんと 34 曲！参加者の皆さんはお互いに手拍子を送りながら、自慢の歌声を響かせていました。歌を通して自然と会話が弾み、新しい交流が生まれる素敵なひとときとなりました。



日の丸会館では、これからも地域の皆さんが心を通わせ、生き生きと過ごせる居場所づくりを目指していきます。次回の「カラオケクラブ」は以下の通り開催いたしますので、ぜひお気軽にご参加ください。

【第２回 カラオケクラブ 開催概要】

- **日　時：**11 月 9 日(月)午後 6 時～8 時 30 分
- **会　場：**日の丸会館
- **参加費：**500 円
- **飲　食：**飲食(アルコール可)をされる方は各自ご持参をお願いいたします。
- **お申し込み：**11 月 5 日(木)までに、栄東まちづくりセンター（711-2203）へ、「氏名」と「町内会名」をご連絡の上お申し込みください。

--令和 8 年 10 月 7 日(水)--

事故死ゼロを託し、交通安全たまねぎ啓発



この日、地下鉄栄町交差点にて、栄東地区の秋の風物詩である「第 41 回 交通安全たまねぎキャンペーン」および「交通安全教室」が実施されました。このキャンペーンは、故・氏家謹一さんが始められ、現在はお孫さんの氏家正喜さんが丹精込めて育てたたまねぎをご寄贈いただいている伝統ある行事です。早朝には、氏家さんにトラックで搬入していただいた 2,000 個余りのたまねぎを、栄東連合町内会の役員など12名で袋詰めし、1 時間余りでメッセージカードを添えた 600 袋余りの啓発品を完成させました。



▲氏家正喜さん(トラック上)

午後 2 時からのキャンペーンでは、山田豊・交通部長の「ほんの一瞬の気のゆるみ、不注意が重大な結果を招くことを肝に銘じましょう」という挨拶に始まり、神・東区長や浜崎・東警察署長からも激励をいただきました。その後、交通関係団体など約 60 名が交差点の四つ角や地下鉄駅付近に分かれ、歩行者に交通安全を呼び掛けながらたまねぎを配布しました。今年から安全面を考慮して車道でのドライバーへの手渡しは中止しましたが、すっかり定着した行事のため、わざわざ車を降りて受け取られる方もおり、用意したたまねぎは 30 分余りで全て配布されました。



▲開会挨拶をする山田・交通部長

キャンペーン終了後に開催された交通安全教室では、東警察署の牧野交通官を講師に招き、夕暮れ時の事故が多い東区の傾向を踏まえた夜光反射材着用の呼びかけが行われました。また、4 月から始まった自転車の交通反則通告制度や、9 月からの生活道路での制限速度 30 キロへの引き下げといった最新の法改正についても説明がありました。参加者からは「雪でセンターラインが見えない場合はどうするのか」「自転車のルールがまだ分かりにくい」といった日頃の活動に基づく活発な質問が出され、地域の安全意識をさらに高める実りある時間となりました。



▲熱心に受講する交通関係団体の皆さん

--令和 8 年 10 月 10 日(土)--

地域の防災力向上へ 連町第 4 分区で防災訓練

この日、道営栄町団地の広場と集会所にて、栄東連合町内会・第 4 分区の防災訓練が開催されました。5 つの町内会から約 80 名の住民が集まり、東消防署栄出張所や東消防団栄分団の指導のもと、災害への備えを確認しました。近年、熊本地震 2026 や各地の豪雨など大規模災害が相次ぐ中、参加者の皆さんは「決して他人事ではない」と真剣な表情で訓練に臨んでいました。

訓練は 2 つのグループに分かれて進行し、全員がすべてのプログラムを体験しました。屋内では模型を使った AED の操作や心臓マッサージなどの救命講習を行い、屋外では担架での搬送体験や消火器の操作、実際の消火栓を使った放水訓練など、実践的な技術を学びました。

いつ起こるかわからない災害に対し、地域一体となった訓練を通じて、一人ひとりの防災意識と住民同士の連携がさらに強まる 1 日となりました。



西田・第 4 分区長(写真左上)と参加者たち



消火訓練



消火栓の開栓方法



担架による搬出